



旧第一校舎の外観①と教室  
(報道発表資料から)



千葉県教育委員会と県立安房高校は3日、1930(昭和5)年に建てられた「安房南高校旧第一校舎」

## 旧第一校舎の価値紹介

安房南高校

千葉県教委らオンライン講演会

の価値などを紹介するオンライン講演会を開いた。建築家で日本建築家協会保存問題委員会委員長の夏目勝也氏が現地を訪れ、校舎の現状や価値を紹介した。旧第一校舎は、関東大震災で倒壊した県立安房高等女学校校舎を当時の耐震構造で再建した。所在地は北条611。木造2階建てで建築面積は約1100平方メートル。大倉組が施工した貴重な木造建築は95年、県指定

文化財になっている。夏目氏によると「女関周辺の洗い出し仕上げをはじめ、形の異なる屋根の組み合わせやひし形を重ねたレリーフや窓の飾り棧、柱装飾や階段の欄干装飾に特徴がある」という。戦前の古い技法で作られたゆがみのあるガラス窓は「天われた技術」として希少性がある。講演会には、市民有志がメンバーの「安房高等女学校を愛する会」の片方義明会長も出席。「換気や掃除を続けているが、使われることのない建物の老朽化に不安がある。活用を模索したい」と話した。

安房南高は創立100年を迎えた2008年に県立安房高校と統合し歴史の幕を閉じた。旧第一校舎は県が管理し、愛する会も協力して保存している。

県教委と安房高校は旧第一校舎の写真パネル展を開催している。館山会場(千葉県南総文化ホールギャラリー)の会期は7日まで。2028日は鋸南会場(道の駅きよなん案内所ギャラリー)で開催する。